

特集 空き町屋の利活用に向けた取り組み



ひこね町屋かわら版

第二号 (平成 27 年夏)

発行
小江戸ひこね町屋活用
コンソーシアム



①相談と調査

まず、事務局が、所有されている方のご意向と物件の現況について把握を行います。築 50 年以上の建物や、建物内に民具などの資料がある場合など、彦根市文化財課や大学研究室など関係団体と連携して対応します。事務局による物件や活用に関する相談、活用事例紹介、物件調査は無料です。



小江戸ひこね町屋活用コンソーシアムでは、彦根の地域資産である町屋や古民家の活用に向けて、市役所や商工会議所、NPO 法人、市内三大学、自治会などと連携しながら取り組んでいます。今回は、自分の持っている空き町屋を活用したいと考えている方に向けた利活用の流れについて紹介します。



②物件登録とマッチング

①での検討をふまえて、活用を希望される場合にのみ、町屋情報バンクへの登録を行います。情報公開を望まない場合、町屋情報バンクへ登録しない形での活用や対応も可能です。費用については、物件登録にあたって境界確定や相続手続きなど、経費が発生する場合があります。また、物件契約や仲介業務は宅地建物取引業法に基づいて当会の不動産業者が行い、別途仲介手数料が必要になります。なお、事務局が、登録物件の取引交渉や契約に直接関与することはありません。

<活用に向けたポイント>

町屋の利活用にあたっては、建物を良い状態で保つことが重要です。当コンソーシアムでは、家の管理業務、草刈り、風とおし、家財道具の整理などの維持管理業務 (有料) なども行っております。

コンソーシアムでは、彦根の町屋に住んでみたい、活用してみたいという方を対象に、物件情報の提供とマッチングを行っています。この主旨をご理解いただいたうえで、町屋を所有されている方のニーズや所有されている物件の状況にあわせた形ですすめていきますが、大まかな流れは、①相談と調査、②物件登録とマッチングになります。空き家の管理が大変で、誰かに貸したい。空き家はあるが、修繕しないといけない。家を新築したため、前に住んでいた家が空き家になっている。お心当たりのある方は、お気軽にご相談ください。



を発表させていただきました。また、3年に渡って会長を務めてくださった廣瀬会長がご退任されるのにあたって、感謝状と記念品の贈呈を行いました。

5/21 小江戸ひこね町屋活用コンソーシアム全体会議

平成27年度小江戸ひこね町屋活用コンソーシアム全体会議を行いました。運営委員のみなさま、協賛企業のみなさまにお集まりいただきまして、2014年の事業・収支報告や2015年の事業・収支計画

2/28

古くて新しいまちの暮らしかた

交流会でも話は尽きず、大盛況のイベントとなりました。



日本のリノベーション業界の草分け的存在である㈱ブルースタジオの大島芳彦さんをゲストに迎え、「古くて新しいまちの暮らしかた」を考える勉強会をドットファイブカフェ(滋賀県彦根市中央町)にて開催しました。大島さんには今まで関わってこられたお仕事や事例をご紹介頂き、古い建物とまちの関わり方についてご講演頂きました。また、後半には彦根や近江八幡で実際に古い建物を活用している方々にもご登壇いただき、クロストークを行いました。

活動報告

イベント報告

協賛企業のご紹介

アケボノ 特機株式会社

vol.02

当コンソーシアムの活動にご協賛いただいている企業さまをご紹介します「協賛企業レポート」。第二回は映像・音響・通信システムでより便利で安心な暮らしを提案する「アケボノ特機」さんを訪ねました。

御社の創業時期と沿革について教えてくださいませんか。

昭和56年、私が39歳の時に創業しました。社名は従兄弟が経営していたSONYの商品を販売する株式会社アケボノから独立したことに由来します。元は従兄弟の父で私の叔父が市内の京町で開業したあけぼの書店に始まります。曙：ほのぼのと夜が明ける頃を新しく商売を始める時に重ねたのでしよう。設立以来、商売が上手くいくよう日々努力をしてきましたが、逆境に陥ることが多々ありましたが、夜明けを待つように明るい未来を展望するのはいつの時代も変わりません。

業務内容についてご説明いただけますか。

設立当時より電気通信工事の受注が増え、現在では官公庁、学校、企業に映像・音響機器をはじめ、コンピュータとの組み合わせによるマルチメディアシステムを納入しています。例えば、当社オリジナル商品である不法投棄監視システムをはじめ、防犯セキュリティシステム、テレビ会議システムなど時代のニーズに対応した環境を提案しています。



お話を伺った安井満雄代表取締役会長



事業内容：映像・音響・通信システム
所在地：彦根市芹川町 593-1
電話：22-7903
ホームページ：http://www.akebono-tokki.com/

彦根の風景や町並みについて、どんな想いをお持ちでしょうか。

私は13歳の時から彦根に住んでいます。母校の中学・高校とも木造だった校舎はコンクリートの素晴らしい校舎になっています。私は映画が好きで、当時は商店街に3つもあった映画館によく映画を観に行き、楽しんだ思い出があります。彦根で商売を始めた私は彦根に育ててもらったと言っても過言ではありません。その中心部や平日の観光地に近年にぎわいがなくなつたのはさみしく思います。

当コンソーシアムの活動にメッセージをいただけますでしょうか。

地域おこし活動は個々にされていますが、何かが不足しているのでしょう。まちが一致団結して議論する機会を増やすことで何か見えてくるといいですね。古き良き彦根を活かすコンソーシアムは大変重要な役割を担っていると思います。

HPからの便り

〈ひこねまちコラム〉 第二話

写真が語る城下町彦根 ～シブヤ写真館による50年の記録より～ その1-銀座編



登り町グリーン通り商店街の路地にたたずむレトロな「シブヤ写真館」。昭和10年(1935)に建てられた洋風建築は時を巻き戻してくれるかのようだ。2代目店主だった渋谷博さんは昭和30年代から出張撮影の合間にまちを撮り続けてきた。もう二度と見ることができない光景や真実が明かされている、貴重な一枚1枚には驚きと感動をおぼえる。銀座商店街「通称：銀座」と言ってもデパートやブランドの路面店はない。けれど、昔、マルビシ百貨店というのがあったそうだ。昭和に入ると彦根に紡績工場が次々と建設され、人口が増加し、商店街は賑わった...

- 完全版コラムはHPにて！ぜひご覧下さい！ -

編集後記

今月は、空き町屋利活用に向けての大きな流れについて特集させていただきました。建物によって状況は異なり、ケースバイケースの部分も多々ありますが、どんな場合でも、まずは持ち主のみなさまの困っておられることをお伺いし、相談に乗らせていただくことから始めております。ぜひお気軽にお問い合わせください。少しでも何かお役に立てれば嬉しいです。

発行・お問合せ：
小江戸ひこね町屋活用コンソーシアム事務局
事務局所在地：滋賀県彦根市河原二丁目 2-38
電話：0749-23-2123 FAX：0749-26-2730
ホームページ：http://www.hikone-machiya.com
E-mail：info@hikone-machiya.com
最新情報は Facebook、HP に随時掲載中

求む！

空き町屋情報、
是非お寄せ下さい。

当バンクでは皆様の物件情報を募集しております。条件は昭和20年以前に建てられたものであること。お持ちの大切な町屋の管理にお悩みの方、お気軽にお電話ください。スタッフが丁寧に対応させていただきます。

スタッフ紹介 vol.2



前谷 吉伸

こんなメンバーで運営しています！
当コンソーシアムの運営団体彦根商工会議所異業種交流研究会の会員で、事務局をさせて頂いております。前谷吉伸です。
船町にありますが創業百年 前谷酒店酒舗またたいて、滋賀の地酒専門に酒類小売業を営んでおります。コンソーシアム設立当時から異業種交流会と実務メンバーである事務局の繋ぎ役、取りまとめ役として務めています。市外転出者がまた戻ってきたかと思える町、彦根市へ移住したいと思える方が増えれば嬉しいです。

てお手伝いさせていただきます。さらに個人的にも今年五月から七曲ガリの町屋に住み始め、酒屋も築八十年の蔵を改装した店舗で営んでおり、年と共に味わいと深みを重ねられるものもとても好きです。
生まれ育った彦根のまちをが魅力的であり続けたいと願っています。少しでも役に立てればと思っています。私以外市外出身の他事務局メンバーとともに議論したい、多くの方と出合い繋ぎたいと思っています。